

地方公会計の整備促進に関するワーキンググループ（第4回）

【開催日時等】

- 開催日時：平成20年8月27日（水）14：00～16：00
- 場 所：総務省第2会議室
- 出席者：森田座長、荒張委員、経塚委員、小室委員、菅原委員
高林委員、竹内委員、田中委員、水野委員
稲葉日本不動産研究所システム評価部次長
佐々木公営企業課長、高田財務調査課長、他

【議題】

- (1) 資産評価実務手引き（案）について
- (2) 連結財務書類作成における実務手引書の構成（たたき台）について
- (3) 作業用ワークシートの検証経過について

【配付資料】

- 資料1 新地方公会計モデルにおける資産評価実務手引き（案）
- 資料2-1 新地方公会計モデルにおける連結財務書類作成実務手引の構成（たたき台）（菅原委員、小室委員作成分含む）
- 資料2-2 菅原委員提出資料
- 資料3 作業用ワークシートの検証経過

【概要】

- 事務局から資料1の説明
（概要）
 - ・ 資産評価実務手引きの構成として、大きく総論と各論に区分して、総論では新地方公会計モデル（基準モデル、総務省方式改訂モデル）で採用している資産評価の考え方等の原則論などを記述し、各論では売却可能資産や事業用資産の土地、建物・工作物等やインフラ資産など、それぞれの評価手順を具体的な評価事例と共に記述することとしている。
- （出席者から主な意見・質疑等）
 - ・ 機械、装置関係や備品関係などに係る耐用年数の設定についても手引に記述する必要があるのではないか。
 - ・ 資産評価の方法について、いくつかある手法を例えば優先順位のような形で手引に示すことはできないか。
- 事務局、小室委員及び菅原委員から資料2-1の説明
菅原委員から資料2-2の説明

(概要)

- ・ 地方公共団体に対して連結財務書類作成における課題等を照会したところ、科目対応表の充実や組替作業、相殺消去作業の手順の明示、連結対象団体用のワークシートの提供など、具体的な内容の質問が寄せられ、それらを踏まえ、連結に関する作成手順などを掲載した「新地方公会計モデルにおける連結財務書類作成実務手引」の提案を考えている。(資料2-1)
- ・ 基準モデルについては、連結対象団体種別ごとの組替表の提示・解説、のれんや少数株主持分など連結固有の考え方について事例、解説を踏まえた説明などを記述することを考えている。(資料2-2)
- ・ 総務省方式改訂モデルについては、決算統計の表行列番号の明示や科目対応表をより詳細にした手順の提示などを考えている。
また、連結財務書類作成を早期に取りかかれるよう、まずは全団体の3分の1以上の市町村で存在すると想定される600事業以上の公営事業会計(水道、病院、簡易水道、下水道、国民健康保険、老人保健など)を対象とした記述内容にすることも考えられる。
- ・ 一部事務組合・広域連合については、普通会計もしくは公営事業会計に準じた決算書、決算統計を作成しているため、それらを使用して作成することができると思われるが、退職手当組合については、性質や内容が異なるため別途手順書の提示が必要と思われる。

(出席者から主な意見・質疑等)

- ・ 連結行政コスト計算書については、実務上の促進という観点から考えると、収支計算書の数値などから誘導的に作成することも一つの方法と考えられる。

○ 事務局から資料3の説明

(概要)

- ・ 作業用ワークシートの検証については、6つの団体に検証を依頼し、現在、検証作業中である。現時点の途中経過として、L G-WANによる決算統計データを用いての作業に対しての検証の結果、Windows Vista以前のパソコンでL G-WANによる決算統計データをダウンロードする際に生じる障害への対応など、いくつかの指摘事項が寄せられた。

○ 今後の予定

- ・ 次回は10月1日(水)14時から、次々回は10月28日(火)14時から開催予定。